きたうつのみや

謹　賀　新　年

年頭の辞

第30代航空学校宇都宮分校長
兼　第27代北宇都宮駐屯地司令
1等陸佐　古賀幹徳

新年あけましておめでとうございます。きたうつのみや会の皆様、栃木県安全保障研究会の皆様、大空会の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

旧年中は駐屯地、所在部隊等に対し多数のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

我が国を取り巻く安全保障環境は、これまで以上の速度で厳しさと不確実性が増大し、国内においては、地震や豪雨に伴う大規模災害が頻発・激甚化しており、陸上自衛隊に対する「最後の砦」としての国民の期待は更に高まっていると認識しています。

こうした中、防衛省・自衛隊として、あらゆる事態に迅速・確実に対応すべく、宇宙・サイバー・電磁波といった新たな領域を含む多次元統合防衛力を着実に構築していくとともに、陸上航空においては、ティルトローター機Ｖ－２２及び多用途ヘリコプターＵＨ－２の導入を始めとした様々な改革を推進していくことが求められています。また、北宇都宮駐屯地においては、北関東における陸上航空の拠点として、これまで以上に体制を強化していく必要があります。

本年も駐屯地全隊員・職員一丸となり、諸先輩方が築き上げた良き伝統を継承しながら新たな改革・挑戦を継続し、航空安全を確保しつつ、任務完遂に邁進していく所存です。

本年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとり輝かしい一年になりますようお祈り申し上げ新年のご挨拶とします。

各会長のご挨拶

きたうつのみや会会長
鳥海　清

新年おめでとうございます。
コロナ禍が新たな段階に入り、ウィズコロナの中、駐屯地隊員及びきたうつのみや会会員の皆様におかれましては、御健勝で、輝かしい新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。
さて、ロシアによるウクライナ侵攻は未だ先が見えず、中国による軍事驚異の増大等、我が国を取り巻く安全保障環境は予断を許さない状況となりつつあります。また、年間を通じ各種災害の発生が予想され、自衛隊に対する国民の期待は一段と増しております。
このような中、隊員の皆様には益々教育訓練に精励され、安全に留意し、ご活躍されることを期待しております。
最後に、皆様にとりまして健康で充実した一年でありますよう祈念申し上げます。

栃木県安全保障研究会会長
小田島 建夫

あけましておめでとうございます。
今年こそは終息するだろう、という人間たちの期待を裏切ってウイルスの威力は衰えず、とうとう五年目に入ってしまいました。
私はお陰様で罹患することもなく無事に過ごしておりますが、本当に今年こそはと祈るばかりです。
しかし、終息しないのはコロナばかりでなくロシアのウクライナ侵略は続き、中国の台湾統一に向けた動きや、弾道ミサイルの発射を繰り返す北朝鮮の今後の動向も不透明であり、気の抜けない状況が続いております。
大東亜戦争の敗戦から今年は七十八年になりますが、このようなかつてない不安定な安全保障環境にあって日本人もようやく祖国の危うさに気が付き、国防費の大幅な増額が決定されたようです。
今年も自衛隊が「祖国を守る最後の盾」として更なる実効性を高めるべく国民一人一人が認識を改めしっかり考えることが必要だと思います。
ウクライナの方々の尊い命が失われ続ける現状は、私たちに国際紛争は「他人事」ではないという事実をあらためて突き付けています。平和な日本を守るために、私たちは今年も、微力ながら自衛隊の皆様を応援して参ります。

大空会会長
相良 栄

北宇都宮駐屯地の皆様をはじめ関係者皆様、謹んで新春のお慶びを申し上げます。
昨年は、私どもの大空会が航空学校宇都宮校の支援団体として発足してから１０周年を迎えることができました。皆様より賜りましたこれまでのご支援・ご協力に対し、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。
さて、新型コロナウイルスの影響が続くなか、世界に激震が走りました。ロシアによるウクライナ侵攻です。大国が侵略戦争を起こしたという事実は、我々日本国民にも不安と恐怖をもたらしました。また、台湾有事の危険性や北朝鮮のミサイル問題など、日本周辺の厳しい情勢も続く中で、自衛隊各部隊、なかでもヘリコプターにより広範囲を迅速に活動する陸自航空科部隊への国民の期待は今後更に大きなものとなるでしょう。そして航空操縦士の養成とヘリコプターによる各種任務、飛行場運営等の重要な任務に従事される北宇都宮駐屯地皆様の日々大変なご苦労に深く感謝いたしますとともに、皆様のご活躍と航空安全をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

第214期陸曹航空操縦課程
中期卒業式

航空学校宇都宮校は１２月１日、第６０－２１４期陸曹航空操縦課程（中期）の卒業行事を挙行した。

今回、ヘリコプターパイロットの資格を手にした卒業生は、警察庁預託学生１名を含む１２名。部内選抜の難関を突破して令和３年６月に入校、前期教育（学科主体）と中期教育（基本操縦）合わせて１年６か月間の教育を全うし、すべての学科試験と技量査定をクリアして無事この日を迎えた。

駐屯地体育館で行われた卒業式では、古賀分校長から航空き章が卒業生へ授与され、続けて後期教育の指定機種と教育地について命令伝達が行われた。

古賀分校長は後期教育に臨む若き航空操縦士たちへのはなむけとして「誇りと謙虚さを持ち自学研鑽せよ」「改革の一翼を担う幹部候補者として修養せよ」と訓示を述べた。壮行行事では、道路沿いに並んだご家族、教官や在校生からの拍手や万歳三唱の唱和を受け、しばしお礼と励ましの声が行き交うなかで、卒業生たちが学生長の号令で一斉に帽子を天高く投げ上げ、それぞれの後期教育地へ旅立った。

令和4年度第2回
宇都宮校野外訓練

布引山演習場に陣地展開！

宇都宮校は１１月９日から１８日までの間、北宇都宮駐屯地及び布引山演習場において、第２回宇都宮校野外訓練を行った。

この訓練は、宇都宮校に所属する若年隊員に対し航空科部隊の展開地勤務及び野外行動の基本・基礎を習得させることを目的として実施された。

北宇都宮駐屯地で行われた前段訓練では、基本訓練の再確認を行い、布引山演習場で行われた後段訓練では、一段階強度を高め、実機を用いた演習場内での航空機誘導を行う等、平素の勤務では体験できない内容であり、気温が氷点下を記録した厳しい状況であったが、参加した隊員達は積極的に取り組んでいた。

駐屯地スポーツ大会

宇都宮校整備課
前回優勝チームを下しての優勝

１０月１日～１１月２４日の間、駐屯地スポーツ大会（種目：玉入れ）が開催された。決勝は１１月２４日に行われ、『宇都宮校整備課ｖｓ東部方面管制気象第４派遣隊』のカードとなった。

１本目は昨年優勝の貫禄よろしく管気４派が取ったが、２本目は整備課が素晴らしい連携を見せ、３本目は接戦を制した整備課が取り見事優勝を果たした。

祝　12ヘリ1飛　坂本1尉　無事故飛行 1500時間達成！

定　年　退　官

～長い間お疲れ様でした～

１２ヘリ１飛
手塚曹長

宇都宮校
柏﨑曹長

宇都宮校
松葉曹長

守りたい人がいる
陸上自衛隊

【発　行】　きたうつのみや会
【編　集】　曹友会
修親会
渉外広報班

〒321－0106
栃木県宇都宮市上横田町1360
陸上自衛隊北宇都宮駐屯地　渉外広報班
電話　028(658)2151　内線232